

シリーズ名：医療倫理

月日	曜日	時限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
9.12	木	V	イントロダクション 「医療倫理」とは何か	勝井恵子	東京大学 大学院医学系研究科	生命・医療倫理の歴史を踏まえた上で、医療倫理の四原則について説明することができる。	事前課題を熟読しておくこと。
"	"	VI	医療倫理の基礎① インフォームド・コンセントと意思決定支援	"	"	医療倫理を学ぶ意義について、現代社会と医療の関係も踏まえた上で把握し、説明することができる。	"
9.19	"	V	医療倫理の基礎② 地域医療と医療アクセスの公平性	担当者	総合診療内科	医師に課せられた応召義務、医療アクセスの地域格差等について説明することができる。	"
"	"	VI	医療倫理の基礎③ 医療における情報管理	担当者	臨床検査医学	医療における情報管理の重要性等を説明することができる。	"
9.26	"	V	医療倫理の基礎④ 「医療」と「エンハンスメント」の間に	勝井恵子	東京大学 大学院医学系研究科	エンハンスメントに関する議論を把握することで、「医療」の範囲について考えを深めることができる。	"
"	"	VI	ケーススタディ I	"	"	医療倫理の基礎①～④の講義に関連する問いや事例について、医療倫理の観点から考察を深め、自らの意見を持ち、討論に参加できる。	"
10.3	"	V	臨床における倫理① 産科・婦人科領域をめぐる課題	担当者	産科・婦人科	産科・婦人科領域（主に生殖補助医療）の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
"	"	VI	臨床における倫理② 救急医療をめぐる課題	担当者	救急医学	救急医療の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
10.10	"	V	臨床における倫理③ 終末期医療をめぐる課題	勝井恵子	東京大学 大学院医学系研究科	終末期医療の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
"	"	VI	ケーススタディ II	"	"	臨床における倫理①～③の講義に関連する問いや事例について、医療倫理の観点から考察を深め、自らの意見を持ち、討論に参加できる。	"
10.17	"	V	臨床における倫理④ 小児医療をめぐる課題	担当者	小児外科	小児医療（主に小児外科）の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
"	"	VI	臨床における倫理⑤ 形成外科医療をめぐる課題	担当者	形成外科	形成外科医療の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
10.31	"	V	臨床における倫理⑥ 移植医療をめぐる課題	勝井恵子	東京大学 大学院医学系研究科	移植医療の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
"	"	VI	ケーススタディ III	"	"	臨床における倫理④～⑥の講義に関連する事例について、医療倫理の観点から考察を深め、自らの意見を持ち、討論に参加できる。	"
11.14	"	V	臨床における倫理⑦ 精神医療をめぐる課題	担当者	神経精神科	精神医療（精神疾患、認知症等）の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
"	"	VI	臨床における倫理⑧ 代謝・内分泌内科領域をめぐる課題	担当者	代謝・内分泌内科	代謝・内分泌内科領域の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
11.21	"	V	臨床における倫理⑨ 性・ジェンダーをめぐる課題	勝井恵子	東京大学 大学院医学系研究科	性やジェンダーに関する現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
"	"	VI	臨床における倫理⑩ 公衆衛生をめぐる課題	"	"	公衆衛生に関する現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
11.28	"	V	ケーススタディ IV	勝井恵子	東京大学 大学院医学系研究科	臨床における倫理⑦～⑩の講義に関連する事例について、医療倫理の観点から考察を深め、自らの意見を持ち、討論に参加できる。	"
"	"	VI	医療研究開発と倫理① 研究倫理と研究公正	"	"	研究倫理とは何かについて学び、その重要性について考えを深めることができる。	"
12.5	"	V	医療研究開発と倫理② ゲノム医療研究	担当者	臨床腫瘍学	がんゲノムに関する現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
"	"	VI	医療研究開発と倫理③ 再生医療研究	担当者	幹細胞再生医学	再生医療の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
12.12	"	V	医療研究開発と倫理④ 脳科学研究	勝井恵子	東京大学 大学院医学系研究科	脳科学研究の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
"	"	VI	ケーススタディ V	"	"	医療研究開発と倫理①～④の講義に関連する事例について、医療倫理の観点から自身の考えを持ち、討論に参加できる。	"
12.19	"	V	次世代医療に求められる倫理① 難病克服に向けての取組	担当者	難治研	難病治療の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
"	"	VI	次世代医療に求められる倫理② 患者とともに歩む先端医療開発	"	"	難病研究の現状を知った上で当該領域に関連する倫理的課題を把握し、考えを深めることができる。	"
1.9	"	V	総括 改めて考える「医療倫理とは何か」	勝井恵子	東京大学 大学院医学系研究科	これまでの講義、パネルディスカッション等について総括し、「医療倫理」に対する自身の考え、医師という専門職（プロフェッショナル）に求められる姿勢について考察を深めることができる。	"
"	"	VI	"	"	"	"	"